



月刊労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 千葉 (22) 7207番

91.5.30 No. 3401

車通

車通とく

NO.2

信楽の事故が起きたが、年に一~二回無線器を乗せないまま「君津市民号」として君津まで乗り入れている。以前には、車両が足りないため、この団体臨時のために旧車(廃車予定等)を引っぱり出して使用したこともある。

車輪が削れる。

制輪子がJRになつてから二回変わっている。今使っている制輪子はブレーキが効くが、車輪が削れるようだ。実際車輪のフランジが摩耗し、カミソリの様になつている。検修でも規定ギリギリのものが多くなつていると言つていて、車輪添削のために臨時入場した車があつた。

保

あまりにデータラメ

前照灯は、最初昼間は減光して走れ、と言つていたが、球が切れるからと言つて、「昼間減光禁止」としてしまつた。やつていることがデータラメすぎる。

乗務員の言葉のはじばしから伝わづくるのは、「明日はわが身」という不安感であった。区長面談ひとつとつてみても、中味の大半は「出向」「関連事業への「希望調査」であつて、運転屋としての安全への視点など無きに等しいそうである。信楽高原事故の新聞切り抜きがある。信楽高原事故の新聞切り抜きがある。まさにJRの安全は氷点下〇の冷たさの中にある。自らの命を守る闘いに立たなければ、明日は本当にわが身となつてしまふかも知れない。

毎月の訓練のたびに作業標準なんかが、当局の都合のいいようにどんどん変えられる。これでは、作業標準も運心もあつたもんじやない。

ダイ改の時など、ワク内訓練ではやりきれずに、ダイ改が終わつてからダイ改の訓練をやつているような状態だ。

ダイ改当日に

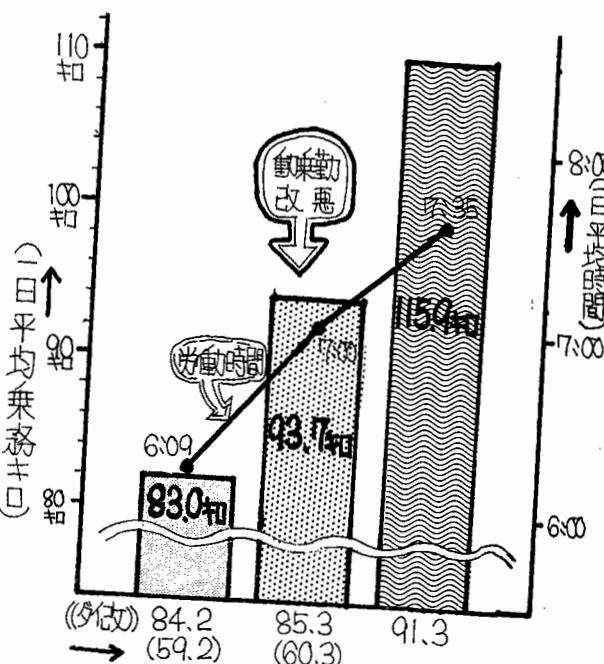
作業ダイイヤがない

電検派出など、ダイ改当日に作業ダイヤができていた。しかも、今まで必ず行われていた駅との打ち合わせもなく、当局に聞くと、「そんなことは必要ない」と言ってひらき直つている。

ダイ改訓練!

車

転場の声
怒りの声



横田で、五両併合の時、ブレーキ試験流れる。ひどい時は二~三メーター流れが、一〇〇〇分の三で規定上はいいんだと当局は言つている。突き固めても一週間でもとに戻つてしまふ。土台から直さなければダメだとの間主張しているが、手もつけようとしない。

規定内だからいい!!

DATA
木更津
一日平均
乗務キロ &
労働時間

社員の福祉などと言つているが、亀山宿泊所は起床時間が異なる。わらず、個室となつていて、構造上布団が異常に湿っぽく、業者もビックリしている。

業者もビックリ

車